

めぐみの森だより

2025 年 9 月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448

夏になると「原爆」や「戦争」など、苦しくなるような話や映像を目にすることが多くなり、どうやって「平和」を子どもたちに伝えていくのか…自分には何ができるのか…悩みながら過ごしています。

今年も、そんなことを考えながら、ちゅうりっぷ組に入った 8 月のある日。昼食を食べながら N さんが「ママがいい」とぼつりつつぶやきました。ふとさみしくなったのでしょうか。するとすかさず、同じテーブルで食べていた E さんが「じゃあ、E がママになってあげるよ」とさらっと言うのです。N さんは「えっ」と言いながら、何か考えている様子。それから笑顔で会話しながらの食事になりました。N さんが何を思ったかはわかりませんが、何か感じるものがあったのかなと思いました。



また別の時間、毎日晴れているね。という話から「雨が降らないと、水道の水も出なくなってしまうよね」と保育者が話すと、じーと聞いていた E さんがさらっ「E のいえのおみずあげるよ」と。

更に別の時間、シャワータオルのボタンがとめられず「できないよ」と助けを求める T さん。保育者よりもはやく S さんが駆け寄り「S がやってあげる」と手伝ってあげていました。なかなかボタンがとまらず、1 分経ってもできず、2 分経ち、3 分経ち、さすがに T さんがシャワーを浴びる時間もあるので声をかけようとしたのですが、先にシャワーを浴びていた S さんの額には汗が…。そして S さんも T さんも真剣な表情。2 人の姿を見てぐっと言葉を飲み込みました。3 分半、やっとボタンがとまりました。T さんはすぐに「ありがとう」と言い笑顔です。ありがとうを言われた S さんも笑顔で保育者を見て「ね、できたでしょ」と言っているような表情でした。



この様な場面は保育園では当たり前のように、毎日色々な時間に見られる子どもたちの姿ですが、これこそが「平和」なのではないかと思いました。自分が「代わってあげる…」「分けてあげる…」「手を差し伸べてあげる…」という想い。そして「ありがとう」の言葉。ここに「平和」の全てが詰まっていると感じました。私たち大人がどう伝えるかという上からのものは何もいらないと思いました。子どもたちの心にはすでに「平和」があるのです。私たちはそれに気づき、子どもたちから学ぶ機会を与えられています。自分には何ができるのか…子どもたちから平和を学ぶことができるのだと感じました。

記: 副主任 菅原 飛鳥

【今月のおすすめ紹介】

・熱海でふらっと入ったお店に、お酒にとっても詳しい方がいて、色々な日本酒を出してくれました。飲んだ感想を言っていくと、私好みの日本酒がわかり、次々とお気に入りのお酒を出してくれるのです。その中でも、この「八仙 V1116」は、ワインのような日本酒で、ジュースを飲んでいるようでした。(ジュースかどうかは人によるかもしれませんが…)

これなら、日本酒が飲めないワイン好きの人でも飲めるのではないかと思います、お酒好きの人に、手に入り次第配ろうと思っていますが、好みは人それぞれなので、飲んでほしいけど悩み中です。

わりとなんでもいけるという方は試してみてください。



[V1116 - 八戸酒造株式会社【公式 HP】](#)

